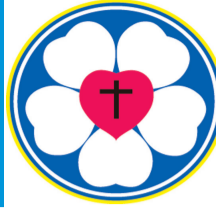




# るらてる



2021年  
**10**月  
No.886

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人 ■ 李 明生 koho@jelc.or.jp  
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定 価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教 「真理はあなたたちを自由にする」

日本福音ルーテル名古屋めぐみ教会牧師 小澤周平

「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

(ヨハネによる福音書8章32節)



未曾有の感染症の危機に直面する中、自由を奪われたような毎日です。この暗闇の中で、イエス・キリストの言葉が光ります。「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

改革500年記念事業を通して実感された方も沢山おられることと思います。

福音書の日課において、イエス様はこの時、ご自分を信じたユダヤ人たちに向かつて言いました。「わたしの言葉にとどまるなら、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」この後の議論を通して、イエス様は罪の奴隷という事実を明らかにします。これは、私たちの奥深い部分にある根本的な不自由さのこととも言えるでしょう。そもそも、人は皆、不自由。私たちの内にある

傲慢さや自己中心、神様から背く思いが、私たちを平和とは逆の世界に縛り付けてしまっています。この罪の奴隷からの解放は、本当の自由は、真理、すなわちイエス・キリストによって、その言葉にとどまることにおいて与えられます。ローマの信徒への手紙3章22節以下には次のように記されています。ここでは聖書協会共同訳を引用してみます。聖書の言葉の味わいが深まるかも知れません。「神の義は、イエス・キリストの真実によつて、信じる者すべてに現されたのです。そこには何の差別もありません。人は皆、罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっています。しかし、イエス・キリストによる贖いの業を通して、神の恵みにより価なしに義とされるのです。」

キリストによつて本当の自由を得た私たちはどうなるのでしょうか。宗教改革者マルチン・ルターは、聖書から深い考察を示します。私たち

は、キリストの弟子となり、キリストの務めを与えられ、祭司とされる。それ故、神様の前に立つことをゆるされ、他者のために執り成しの祈りをする者とされる。イエス・キリストは私たちの心を解放し、他者のために祈り仕える自由を与えてくださったのです。だから、本当の自由を得た私たちは、キリスト者の自由で生きる者とされていきます。

この約1年半、私自身も自由について考えさせられました。私たちの教会でも緊急事態宣言の度に会堂での礼拝参加の自粛をお願いし、集会を見送ってききました。信仰も命も大事ですと呼び掛けながらも、耐える期間が長くなるほど、思い通りにならない不自由さを感じてしまいます。しかしある時、私は、自分の想像を超えて教会員の方から励ましを頂くことがありました。礼拝の動画配信によつて、ご自宅で、ご家族と教会

のことを話せるようになったというのをうかがったのです。その方は、長年、教会のことを話しくい不自由さにありましたが、昨春から始めた教会の働きによって代弁者を得ておられました。私は、人の想いを超える神様の出来事を感じました。礼拝が、キリストの言葉が、一人の信仰者の心を解放していたことを教えられました。

私たちの目の前には、依然として困難が横たわります。しかし、神様は私たちの想いを超えて働かれます。イエス様は「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする」と約束します。今なお、聖書を読む運動の道半ばにいる私たち。その道しるべは、イエス・キリストの言葉です。願わくは、私たち、イエス様の言葉にとどまり、本当の自由を得ることができまうように。そして、他者のために祈り、仕え、この世に平和を成す者とされまうように。+

「ハッピーバースデートウーユー」これって神様が毎日一人ひとりに歌って下さってられるのかもな。そう私に思わせたのは「毎日カードに光が当たるとハッピーバースデーの歌が流れてくるんだよ。」と知り合いが教えてくれた時です。神様つて直接話せないけど

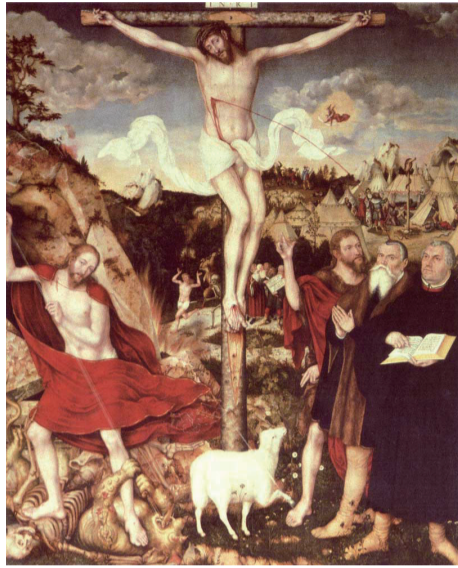


伊藤早奈

①「生まれ生きてきてくれてありがとう」

いろいろなかたちで私たち一人ひとりに囁いて下さるんですね。

私は働かせて頂いていた施設に入居されていた皆さん一人ひとりに誕生日カードをお配りしてあげました。いつもご挨拶をしても下を向いて私の顔なんて見ても下さらなかつた方が私の目を見て下さるようになったりしました。いつも出勤した月の一番初めの日に配るようにしていただのですが、たまたまその日にお誕生日の方がおられたので「お誕生日おめでとう」ございます。今日お誕生日ですね。お誕生日の歌、歌っていいですか?と言ってハッピーバースデーの歌を歌いました。ベッドに横たわり寝ていたのかと思っていました。いつもお会いしていると怖い顔を私に向けていたその方がある日ひよつと私を見て嬉しそうにされました。あまりにも意外でしたが神様が私を通して働かれたことを思いました。ハッピーバースデー。



ワイマール・聖ペーターとパウロ市教会の祭壇画、ルーカス・クラナッハ(子)作、1555年

この約1年半、私自身も自由について考えさせられました。私たちの教会でも緊急事態宣言の度に会堂での礼拝参加の自粛をお願いし、集会を見送ってききました。信仰も命も大事ですと呼び掛けながらも、耐える期間が長くなるほど、思い通りにならない不自由さを感じてしまいます。しかしある時、私は、自分の想像を超えて教会員の方から励ましを頂くことがありました。礼拝の動画配信によつて、ご自宅で、ご家族と教会

のことを話せるようになったというのをうかがったのです。その方は、長年、教会のことを話しくい不自由さにありましたが、昨春から始めた教会の働きによって代弁者を得ておられました。私は、人の想いを超える神様の出来事を感じました。礼拝が、キリストの言葉が、一人の信仰者の心を解放していたことを教えられました。

私たちの目の前には、依然として困難が横たわります。しかし、神様は私たちの想いを超えて働かれます。イエス様は「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする」と約束します。今なお、聖書を読む運動の道半ばにいる私たち。その道しるべは、イエス・キリストの言葉です。願わくは、私たち、イエス様の言葉にとどまり、本当の自由を得ることができまうように。そして、他者のために祈り、仕え、この世に平和を成す者とされまうように。+

**教会手帳2022**

発売予定 **10/1**

使いやすいサイズ 96mm×159mm

表紙・茶色

定価 1,100円

お求めは  
北海道キリスト教書店 (TEL:011-737-1721/FAX:011-747-5979)  
静岡聖文会 (TEL:054-260-6644 FAX:054-260-5612)  
名古屋聖文会 (TEL:052-741-2416/FAX:052-733-2648)  
広島聖文会 (TEL:082-208-0022/FAX:082-208-0177)  
キリスト教書店/ハレルヤ (TEL:096-372-3503/FAX共用)  
日本福音ルーテル教会事務局 (TEL:03-3260-8631/FAX:03-3260-8641)



「健康は人を外に向かわせ、病気は人を内に向かわせる」と言われます。確かに逆境の時は、私たちを内へ内へと深く沈ませてゆく内省の時であり、自己のレジリエンスを鍛錬する時でもある。逆境には楽しみ、逆境には考えよ」とコヘレトが告げている通りです。

昨年2月以降のCOVID-19による世界的なパンデミックは私たちを内面深く沈潜させてゆきました。この状況はいったいいつまで続くには考えよ」とコヘレトが告げている通りです。

動物写真家の星野道夫さんが紹介している『ピソード』です。『旅をする木』。南米のアンデス山脈で考古学の発掘調査のためガイドとして現地の案内人たちが雇われ

ます。調査隊の一行はあ

「健康は人を外に向かわせ、病気は人を内に向かわせる」と言われます。確かに逆境の時は、私たちを内へ内へと深く沈ませてゆく内省の時であり、自己のレジリエンスを鍛錬する時でもある。逆境には楽しみ、逆境には考えよ」とコヘレトが告げている通りです。

動物写真家の星野道夫さんが紹介している『ピソード』です。『旅をする木』。南米のアンデス山脈で考古学の発掘調査のためガイドとして現地の案内人たちが雇われ

ます。調査隊の一行はあ

ドバイスはありませんか。オンライン教会は、パンデミックのときに限らず良い働きです。参加しやすくつながりやすいからです。ヴァーチャルな礼拝のほうが対面する礼拝よりもたくさん出席してくれるという同僚たちの声もあります。教会へかけることは無理でも、礼拝には参加したいという人たちのためにも、こうした牧会を今後も続ける必要を感じます。オンラインを続けましょう！Facebook、Instagram、TikTokなど利用できるメディアがなんであれ、教会がやりたいこと、必要と思うことを見つけてそこに登場してください。

### 神無月に魂のための時間

「健康は人を外に向かわせ、病気は人を内に向かわせる」と言われます。確かに逆境の時は、私たちを内へ内へと深く沈ませてゆく内省の時であり、自己のレジリエンスを鍛錬する時でもある。逆境には楽しみ、逆境には考えよ」とコヘレトが告げている通りです。

動物写真家の星野道夫さんが紹介している『ピソード』です。『旅をする木』。南米のアンデス山脈で考古学の発掘調査のためガイドとして現地の案内人たちが雇われ

ます。調査隊の一行はあ

ドバイスはありませんか。オンライン教会は、パンデミックのときに限らず良い働きです。参加しやすくつながりやすいからです。ヴァーチャルな礼拝のほうが対面する礼拝よりもたくさん出席してくれるという同僚たちの声もあります。教会へかけることは無理でも、礼拝には参加したいという人たちのためにも、こうした牧会を今後も続ける必要を感じます。オンラインを続けましょう！Facebook、Instagram、TikTokなど利用できるメディアがなんであれ、教会がやりたいこと、必要と思うことを見つけてそこに登場してください。

### 「教義讃美歌 増補」解説

⑬増補3番「今こそわたしは去りゆく」増補4番「主は死に打ち勝ち」

讃美歌委員会

石丸潤一  
(西日本福音ルーテル新田教会牧師)

ルターの時代。ペストがたびたび流行し、またトルコがヨーロッパを攻め、すぐそばに生きている人々に死の陰が迫りました。ルター自身も、宗教改革の進展の中で敵と戦いつつ、命の危険を感じる日々を送っていました。

「メント・モリ」ということを「死を忘れない」という意味のラテン語の言葉です。死は誰にでも訪れるもの、誰も乗り越えることのできないもの、すべて生きている人が誰も知らない世界へとひとり無理矢理に連れて行かれることとです。だからこそ、死は恐れるべきものであつて、死に対する解決を誰もが望みます。

古代には、このことばは、「死を忘れるな。そして、生きる今を楽しめ」というように使われたようですが、今の人生をどれだけ楽しんで、死の解決にはなりません。

現代はどうでしょう。私は、死にそばを向く時代になつたように感じます。人の知らない感染症が流行し、災害や戦争が起こる。世界の様子はかつての時代とそれほど変わらないうちに、死が情報や数字に変えられることで、死を自分のものとし、恐れることが薄くなつていくと感ずります。しかし、死から目を背けても、死は必ず自分の身に起ります。

死に対する解決は、死を経験したことのない、生きていく者には生み出せません。とはいえ、もはや死に飲み込まれた人は、解決を生み出すことができませぬ。死の解決ができません。救い

### 世界の教会の声

浅野直樹 Sr.  
(世界福音主事市ヶ谷教会  
スオミ教会牧師)

スウェーデンの  
インターネット牧師③

ルーテル世界連盟(LWF)がスウェーデンのシャルロット・フルツクルンド牧師にインタビュー

最近、人々が退屈してきているようで、退屈さと向き合うための祈りですとか、退屈に耐える程度のこと、自分の最悪の事態で済んでいることを感謝したい、といった祈りもあります。COVID-19の間、皆さんが今感じていることにオンラインでの祈りで

関われることを私たち嬉しく思っています。ソーシャルメディア牧師であることをどう思っていますか。

人生における実存的な問いについて皆さんとお話してできるので、やり甲斐があります。いわば彼らの「今そのとき」に私もそこにいられるのです。通常の牧会だとそのためにわざわざ時間をとって、腰を下ろして話すという形式ですが、そうではなく問題があつたら即座に対応できるのです。困ったことや何か嬉しいことがあつたらスマホから手を離すのではなく、むしろスマホを手にとって利用するのは、ピンチのときも喜びの只中でも、すぐそこに教会があつて、私が関われるのです。私はそこにやり甲斐を感じています。

オンライン教会に期待することはありますか。

世界のオンライン牧師たちとつながりたいと思っています。ソーシャルメディア教会は素晴らしい召しですが、同じ働きに携わる方々との交流や学習をできると思いますね。

オンライン教会を教会が実施していくためのア

ドバイスはありませんか。

オンライン教会は、パンデミックのときに限らず良い働きです。参加しやすくつながりやすいからです。ヴァーチャルな礼拝のほうが対面する礼拝よりもたくさん出席してくれるという同僚たちの声もあります。教会へかけることは無理でも、礼拝には参加したいという人たちのためにも、こうした牧会を今後も続ける必要を感じます。オンラインを続けましょう！Facebook、Instagram、TikTokなど利用できるメディアがなんであれ、教会がやりたいこと、必要と思うことを見つけてそこに登場してください。

スウェーデン教会、そしてあなたの仕事、御自身にとって、教会のコミュニティとは何か教えてください。

ルーテルはグローバルな教会ですが、世界の人々と毎日顔を合わせているわけではありませぬ。けれどもソーシャルメディアだとそれができます。これを用いて私たちが共に祈るなかで、コミュニティというルーテル教会の「輪」のなかにいる一人だと気づけるのです。

+

# パンデミックの中の教会

## 東教区の

### 取り組みから

#### 東教区オンライン信徒講座

小勝奈保子

(東教区教育部長・聖パウロ教会会牧師)

東教区の新しい試みとして、オンライン信徒講座が始まりました。諸集会の開催が難しい状況が続いています。聖書会の休止が続いている教会もあれば、オンラインで始めた教会もあります。単独ではネット配信の難しい教会もあるでしょう。そこで、東教区27教会を

対象にZoomによる、他

教会のメンバーと一緒に学ぶ、聖書講座を計画しました。全体で70分(講座60分+案内10分)です。第1回(6月)は「聖書日課のスヌメ・詩編とルター」松本義宣牧師

第2回は(7月)「求道者に伝える聖書」(フィリピとエチオピアの高

官、それぞれ約50名の参加がありました。講師の方々には、今回のテーマとして、宣教、信徒として伝えることを意識した聖書の学びをお願いしています。

準備の段階では、申込

者が100名を越えたらどうしよう?との心配もあったことから、各教会1~4名の枠を設けました。後日、希望する教会には録画(YouTube限定配信)のURLをお送りすることで、92名のお申込みがありました。

オンライン上でも共に集い学び合えることは大きな喜びです。しかし、ネット環境の難しさも感じています。Zoomの良さは相互交流にあるのですが、出席者が50名近くになりますと、参加者一人一人の発題の提供が難しくなります。しかし、講師の一方的な講義だけに終わってしまうのは、もったいないと頭を悩ま

せているところです。まだ資料の取り扱いに困りながらも、スマホによる参加者の方もおられますので、印刷の準備や画面共有の視聴にも限界があり、つながりあっているけれども、個々のニーズに配慮するのはやはり難しいですね。やってみないと分からないものですが、新たな課題も与えられます。

しかし、良い点は、他の教会の牧師から聖書の学びが受けられる、遠く離れている人々と同じ時間を共有できる、忙しい時間の合間でも遠い会場まで足を運ばずに自宅にて集いに参加できるなど、多くの利点もありました。牧師にとってもオンライン

録画(YouTube限定配信)のURLに関しては、所属教会を通じて東教区教育部へお問合せください。

後藤由起牧師

第5回11月26日(金)19時

「はじめのパウロ」

立山浩治牧師

「旧約の預言者たち」

朝比奈晴朗牧師

第3回9月24日(金)19時

「子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

子どもへ伝える聖書」

## 熱海市伊豆山地区ボランティア報告

渡邊克博

(浜松教会・浜名教会会牧師)

7月3日、熱海市伊豆山地区で大規模な土砂災害が起きました。その後の7月22日、2年前の千葉県館山市の台風の被災者支援の際にお世話になったNGO団体が、発災直後から現地に入って支援活動をしていることを知りました。それから、役員会での議論を経て、ボランティア参加後2週間の自主隔離



ボランティア活動中の渡邊克博牧師

と、事前のPCR検査だけでなく自主隔離の後にもPCR検査を受けることを条件として、JELCも運営委員会に参加しているACTジャパン・フォーラムを通して、8月9日に現地でのボランティア活動に参加することになりました。その団体は地域の自治会と協力して被災者支援を行っていました。その活動は二つです。一つ

は市などから届く生活必需品の戸別配布と住民のニーズの聞き取り、もう一つが住民のニーズを受けて、絵本の宅配、キッズクラブ(子どもたちの交流の場)、移動困難者の車での移送支援などの具体的な被災者支援プログラムの展開です。ここには彼らの提唱する「市民(ボランティアなどによる)ソーシャルワーク」という方法がとられています。

私は戸別訪問に同行し、狭い山道を車で移動し、移動先で夏の日差しの中で汗をかきながら支

援物資を徒歩で戸別配布し、住民の日ごとに変わるニーズの聞き取りを行いました。熱海市の伊豆山地区は、山道を切り開いた集落で、古くからの地域住民の住居と、別荘とが混在しています。水や食料や日用品が地域の支援拠点の公民館に届くのですが、高齢の住民は急な坂を上り下りしなければなりません。活動の最中、大雨の被害の爪あとを見たり、被災された方々の口から自然と溢れる苦しみと痛みの声に耳を傾ける場面もありました。



公民館にて当日の活動の打ち合わせ

コロナ禍の中の多忙な現実の状況に生き抜いて、自分の教会の近くや教区での次の災害に対して何をどう備え、実際に起きたときに何をすべきか、そういう問いかけを受けているのではないかと、このことを感じつつ、今、コロナ禍の中での被災者支援について考えています。

この催しで、高校生が平和を願い、色紙に言葉を書いたものが掲示されていた。その中の一つに「食卓を囲めますように」というメッセージが目にとまりました。私はそのメッセージに感動を覚えました。まさに平和の姿とは、愛する家族や友と食卓を囲むことから始

まる。キリストもまた弱められ、悲しみを抱え、悩んでいる人々、罪人と食卓を囲むことによって平和を思い出したことであることを示したからである。食卓には小さな平和があり、この世の隅の小さな食卓の出来事が実は他者を思いやり、愛し、交わりを深め、喜びに満ち溢れさせる出来事であったとハッとさせられた。隣人との関わりは「同じ釜の飯を食う」ではないが、そういう親しい食の交わりから生まれることは多々ある。そのしるしとして私たちは聖餐という恵みをいただいている。今はそれが奪われ、むしろ悪いことのようにされてしまっていることは悲しく、辛いことである。一日も早く共に食卓を囲む日が訪れるようにとこの高校生の祈りに思いを合わせ、この「食卓を囲めますように」という祈りが真実にこの平和でない世界に必要なメッセージだと感じた。

## 比叡山宗教サミット34周年記念「世界平和祈りの集い」報告

### 「食卓を囲めますように」

竹田大地

(西宮教会・神戸東教会・神戸教会会牧師)

8月4日(水)に比叡山延暦寺にて天台宗主催の「比叡山宗教サミット34周年記念 世界平和の祈りの集い」が開催され、日本福音ルーテル教会より大柴譲治総会議長(リモート)と竹田(現地参加)が出席した。

この集いは1986年10月にヨハネ・パウロ2世の呼びかけによってイタリアのアッシジで始められた宗教間対話の催し「平和の祈り」が発端となっている。これは「平和は誰もが恒久的に求め、それは宗教の違いは関係ない共通の目標である」ということ

で始められた祈り会である。この理念に共感した当時の天台宗第25代座主山田恵諦氏

が、これを日本でも毎年行つていこうと声を挙げ始められ、今年で34回目となった。

キリスト教界からは日本福音ルーテル教会の他にカトリック2名、聖公会2名が現地に参集し、リモートでバチカン市国駐日大使などが出席をした。

今回は現座主によって、戦争に限らず、新型コロナウイルス禍のことで、相互理解を深め博愛、利他、連帯によつても祈り、世界平和を希求し、我々宗教者は一層の努力を積んでいく必要がある」という主旨の挨拶がされた。

この催しで、高校生が平和を願い、色紙に言葉を書いたものが掲示されていた。その中の一つに「食卓を囲めますように」というメッセージが目にとまりました。私はそのメッセージに感動を覚えました。まさに平和の姿とは、愛する家族や友と食卓を囲むことから始

まる。キリストもまた弱められ、悲しみを抱え、悩んでいる人々、罪人と食卓を囲むことによって平和を思い出したことであることを示したからである。食卓には小さな平和があり、この世の隅の小さな食卓の出来事が実は他者を思いやり、愛し、交わりを深め、喜びに満ち溢れさせる出来事であったとハッとさせられた。隣人との関わりは「同じ釜の飯を食う」ではないが、そういう親しい食の交わりから生まれることは多々ある。そのしるしとして私たちは聖餐という恵みをいただいている。今はそれが奪われ、むしろ悪いことのようにされてしまっていることは悲しく、辛いことである。一日も早く共に食卓を囲む日が訪れるようにとこの高校生の祈りに思いを合わせ、この「食卓を囲めますように」という祈りが真実にこの平和でない世界に必要なメッセージだと感じた。



第1回開催時に建立された平和の祈り記念碑



系列校生徒の祈りの色紙が掲示された「世界平和の祈り」舞台



天台座主森川宏映大僧正によるメッセージ

# 第7次総合方策の紹介(6)

事務局長 滝田浩之

## ■方策本文より

### 第7次総合方策本文

#### 1. 基本方針

##### (1) 宣教の根拠

##### (2) 基本的立場

ルターの宗教改革で意図された聖書のみ、「信仰のみ」「恵みのみ」すなわち「キリストのみ」を基本的立場とし、今日の世界に対して神の愛と義による救いを、神の言葉と共に伝えることが日本福音ルーテル教会の宣教である。

##### (3) 宣教の目的

日本福音ルーテル教会の宣教の使命は、キリストの命に従って、すべての人に福音を宣べ伝え、教会を建て、愛による奉仕をなし、これらのことにより神に仕えることを目的とする。(日本福音ルーテル教会憲法第9条)

##### (4) 教会の意義

福音の宣教として恵みの手段(説教と sacrament)を神より託された教会は、キリストへの信仰により、神の救いの働きを担う使命共同体であることを、教会の宣教を通して証しする。

##### (5) 伝道

教会は、折がよくても悪くても、神の国の完成を目指し、祈りつつ、希望と確信をもってキリストと共に歩むものである。(方策を支える重要理念)

## ② 宣教の器

教会は、説教と sacrament を通して福音を伝えるために、より良い宣教の器となることを目指す。

### ③ 教会の「リ・フォーメイション(再形成)」

今日の世界と社会及びそれぞれの地域において、自らの責任能力に応じて宣教する教会であるため、その実現に向けて教会組織の再形成を必要とする。主任牧師が、個々の教会の将来像を地区、教区と協力して描くことが重要である。「方策実行委員会」は、その方向性を支援するために、必要な規則改正等に対応する。

### ④ 教会形成

日本福音ルーテル教会の個々の教会がそれぞれの宣教地において、すべての人にキリストの福音を伝え、教会の一員として招き、信仰の群れとして教会を形成することが宣教の中心的働きである。

### ⑤ 教区としての役割

一つの教会としての日本福音ルーテル教会を構成する個々の教会こそが福音宣教の第一線に置かれるものであり、個々の教会が属する一定の地域毎に構成される地区、教区によって地域の宣教が進められる。

### ⑥ 本教会の役割

また、教区は全体の一致と宣教の進展を図るための責任機関である。教区は個々の教会、地区教会を共同体、教会群の意見をまとめ、「招聘と承諾」については基本的に堅持しつつ、具体的な招聘手続きを個々の教会、地区の描く将来像に基づき行う。一人の教職が担える範囲を、具体的に二つの宣教拠点教会あるいは施設を目安に進められることが望ましいと考へる。

### ⑦ 各教区間の共同

各教区間の状況は大きく異なっている。また教会再編は、あくまでも牧会力の回復のために必要と判断されるところから検討されるべき対応策の一つである。よって一律のタイムスケジュールを組むことのできる教会の宣教を阻害する恐れもある。よって各教区での活発な議論の開始を期待したい。

### ⑧ 教会間の共同

教区は地域における教会間での協力の意義を受け、め、牧師が複数の宣教拠点を抱える場合、積極的に地域の宣教のあり方について提案する責任を負う。

### ⑨ 全体としての教会

日本福音ルーテル教会は一つの教会として、個々の教会、教区、本教会が宣教するための活動と維持のために、それぞれの役割分担を明確にし、これを共に担っていく必要がある。

## ■解説

### 第7次総合方策の「本文」に入りませぬ。具体的な指針を示すものとなります。

日本福音ルーテル教会は、今、岐路に立っている、あるいは危機的な状況にあるのではないかと評価されることがあります。確かに、戦後のキリスト教ブームの時に多くの洗礼者が生まれるような状況に私たちはありませぬ。また、その頃に洗礼を受けられた方々に、今も教会を支えられていることを否定することはできません。

しかし、私たちは、そのような危機的な状況にあるからこそ、教会の原点にいつも立ち帰ることが必要で、し、それしか活路はないことも知っています。ルター神学の特徴が「一点突破、全面展開」と言われるならば、まさに「一点」は福音の喜びを、折がよくても悪くても「伝えること」にあります。

この喜びを伝えるのは「個々の教会」の礼拝であることも、私たちにとって自明なことです。もちろん、私たちの教会は各個教会主義でも、あるいは各個教会の連合体でもありません。個々の教会は教区を形成し、教区は本教会を形成し、「ひとつの教会」であると私たちは理解しています。このような教会理解を持つ私たちが、対外的な教会行政と宣教活動及び教職養成機関の維持と推進を中心的義務とする。

### 第3回「神学校オープンセミナー」のご案内

立山忠浩  
日本ルーテル神学校校長・都南教会牧師

第3回「神学校オープンセミナー」を今年も開催します。新型コロナウイルス感染症の蔓延が収まる状況にあり

### 研修会オンラインに参加して

宮原サラ久留米教会・日善幼稚園教諭

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、オンラインでの研修が行われました。講師は日本福音ルーテル教会総会議長の大柴譲治先生で、緊急事態宣言が発令されている状況の中で、色々な困難や悲しみにどう向き合っていくかを学ばせて頂きました。

### 先月も5回目の緊急事態宣言が発令されましたが、病弱して数週間命を落とす方もいれば、無症状で自宅待機を余儀なくされている方もいらつしやいます。

大柴先生は、悲しみや苦しみの中におられる時、「嘆くことの大切さ」を話されました。「悲しいこと、困難なこと」に「どうも、再生能力、逆境に乗り越えていきたいと思います。」

### たつた時に、嘆いて良いので、嘆きを受け止めてくれる誰かがいることが大切です。」と述べられました。

それは、家族でも友人でも、温かい共同体教会やサークル、いのちの電話等でも、共に話を聴いて受け止めてくれる人がいるだけで良いのです。」と、子ども達も、お友だちとけんかしたり、自分の思うようにならなくて涙がでたり、お家の人の事を思い出して寂しくなったり：そんな時に教師が子どもの気持ちを聞いて、寄り添い、悲しみを受け止めてあげる事が大切ではないかと、改めて思います。

### また大柴先生は、「レジリエンス」の重要性を話されました。

この言葉は元来、ばねの回復力という意味ですが、人間も、再生能力、逆境に乗り越えていきたいと思います。」

### プログラムの第一部と第二部に分かれます。

第一部では、神学校の模擬授業を体験していただきます。神学校の授業時間は100分ですが、その半分ほどの時間で神学生の授業を味わっていただきます。きつと新鮮な体験となることでしょう。受験・入学に関するガイダンスも行いますので、有益な情報を入手できると思います。夕食と休憩時間を挟んで、第二部は交流会です。現役の神学生の進行の下、リラックスした雰囲気の中で参加者が交流を深める時です。若

えられる力、すなわちレジリエンスを持つているそうです。そのレジリエンスを高めるには、①ほからかにする。②一人でもいから、自分のありのままを受け止める人を持つ。③家族や職場など、温かい雰囲気や、信頼関係を持つ。環境の中で、祈り合える場が大切だと教えて下さいました。今、子ども達も厳しい環境の中にいますが、幼稚園で少しでも自分のありのままを出して、お友だちと楽しい時間を送ることができると、私も子どもに寄り添い関わっていきたいと思います。

※8月23日に行われたるるるるる法人会連合全体研修会での大柴譲治議長による主題講演「COVID-19下での悲嘆とそのケア」は左記のURLでご覧頂けます。

https://youtube.com/BWMLGnsqky

手教師にも参加していただき、神学校を受験するまでの葛藤や、神学生時代の生活、教師となった今を率直に話してくださいませぬこと。しよう。要は、皆さんの参加を心から歓迎し、その準備を精一杯しているということです。

### 開催日

11月14日(日)  
第一部(15時～17時)  
第二部(18時半～21時)

### 申し込み

所属教会牧師の推薦を受け、各教区長に申し込みのこと

### 締め切り

10月31日(日)  
JELCとNRKの神学教育委員会、日本ルーテル神学校

### 共催

ルーテル学院・河田チャプレン (mkawata@luther.ac.jp)

### 問い合わせ

お問い合わせ先

### お問い合わせ

お問い合わせ先

